

令和 7 年度 事業報告書 北いきいき市民活動センター

【指定管理者：NPO 法人くらしネット 2 1】

1. 管理運営の状況

1 施設運営業務

(1) 職員体制

センター長 1 名、職員 12 名（常勤 2 名、非常勤 10 名）

【人材育成の取組】

- ・施設連絡会で各団体の取り組みについて研修。
- ・ツラッティ千本特別展・講演会、「きたけん」の参加。
- ・職場ミーティングで、ハラスメントや個人情報保護について研修。

(2) 貸館等

ア 利用件数

(月別)

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
292	318	293	298	280	292	327	309	270	261	273	314

(年間)

3529 件（前年度比 103%） 前年度 3417 件

イ 利用状況

- 昨年度はマイナスであったが、今年度は「空き状況のお知らせ」を HP で紹介し利用申込者が増えた。
- 多目的ホールの利用が増えて、20 時間枠の改善が必要。

ウ 利用促進に向けた取組

- HP・SNS の積極的な発信・活用。

(3) 情報発信等

ア 取組実績

- 各活動を、FM ラジオミックスで紹介していただくことができた。
- 船岡山一带に関わる活動として、佛教大学や HAPS・フナゴラとの連携強化

イ 取組の効果

- アの取組により、障がい者施設・高齢者施設・市民団体の利用が増えている。

(4) 管理運営

- 共生館団体との施設連絡会を毎月実施し、防火管理・建築物の保守管理・建築設備の保守管理について共通理解を行い、職員ミーティングにおいても伝達等を実施。

(5) その他

- 「施設運営の質を高めるための取組」や「将来に向かって地域と共に進化するための取組」で実施したもの。
 - ・利用者の目線に立った施設案内・掲示の工夫。
 - ・「空き状況のお知らせ」を随時 HP で更新する。
 - ・スタッフミーティングを充実させて共通理解を図り、利用者にも協力をお願い（利用後の片付けや、自転車・バイクの停め方など）を徹底できるようにする。
 - ・各利用者の取り組みに耳を傾け、団体間の協力・交流（進化）を進めた。

2. 市民活動支援・活性化事業及びサロン運営・活用事業

【事業名】①-1 団体交流「いきいき市民活動祭」（市民活動支援・活性化事業）

事業の概要

- 1 開催日時： 2025 年 9 月 27 日（土）10 時～12 時
- 2 開催場所： 北いきいき市民活動センター 多目的ホール
- 3 参加人数： 150 名（11 団体）
- 4 協力団体等： 実行委員会（楽只社会福祉協議会・楽只児童館・楽只保育所等）
- 5 予算： 400,000 円 ／ 決算：370,924 円

1 事業内容

- ・センター利用団体の発表と交流 ダンス・音楽の発表と交流
 ・幼児児童とお年寄りとの交流 簡単な手遊びゲームや運動
- 評価委員会から指摘された事項があれば、その改善点を記載してください。
 ・「北区全体に視野を広げる」をめざし、センター利用団体の中から広く出演団体を募集している。

2 準備段階での工夫

- ボランティアや他団体に協力いただいたことも
・ 地元老人福祉委員による PR。

3 事業実施による効果・達成度

(1) 当初の事業効果、目標等

- 事業を実施することで期待される効果や、目標としたことなどを記載してください。
- ・各利用団体とも、普段の練習の成果を十分に披露していただくことができた。
 - ・介護予防センターの健康体操も、効果的であった。
 - ・児童館や保育所の子どもたちによる発表ステージも、和やかで好評であった。

(2) 事業実施による目標の達成度

- ・少人数のグループであっても、質の高い発表ステージが見られた。
- ・出演者と参観者との密な交流（コラボや協働活動など）を工夫する。

4 今後の抱負

- 事業実施後に、実施結果について振り返ったことなどを記載してください。
- ・ 昨年の反省をもとに、保育所と児童館の子どもたちについては、参加者にプレゼントを配るなど交流する機会ができた。
 - ・ 参観者の少ない時間ができてしまうため、できるだけ出演者にも会場で参観していただくようにする。
 - ・ 各利用団体の発表に終わらず、出演者と参観者との交流がもう少しできる工夫や仕掛けが必要と考えている。

事業風景の写真

- 写真は、事業風景がよく分かるように、できる限り大きくしてください。
- A4サイズ1枚までとしてください。



児童館の子どもたちによる歌のプレゼント



いきセン利用団体による発表（演奏）

市民活動祭アンケート 集計 (市民活動祭 実施日9/27日 集計9/27～10/3 回答数71)

アンケート項目	よかった		ふつう ○		もう少し △		未回答
①市民活動祭に観覧・出演していかがでしたか。	59	83%	11	16%	0	0%	1 (7%)
②音楽や発表を楽しめましたか。	59	83%	11	16%	0	0%	1 (7%)
③他の出演者やお客様との交流ができましたか。	28	40%	25	35%	13	18%	5 (7%)
④また次の機会に来たいと思いましたか。	52	73%	14	20%	2	3%	3 (4%)

■その他、お気づきの点やご意見など	
感想・催し全体について… ・とてもよかったと思います。参加できてうれしく思います。 ・足が悪いのでそれでも来られてよかったと思います。 ・あっとホームの中で楽しかったです。来年は他の団体も見たいです。 ・楽しませていただきました。ありがとうございました。 ・音楽がとてもよかったです。・すべてに日本ー ・多世代に渡って集える場になって、地域の交流が深まる場としてのしませていただきました。 ・お年寄りが出掛ける機会になって、とても良い企画だと思いました。 ・出演しただけで（交流の）機会がなかった。・今までの中で一番最高でした！ ・毎日1人、生活しているので、とても楽しめました。 ・楽しい半日を過ごさせていただき、ありがとうございました。お世話になりました。 ・皆様、頑張っておられる姿が浮かびます。楽しく見させて頂きました。ありがとうございました。 ・参加させてもらった子どもたちは、緊張しつつもたのしめていてよかった。 ・他の出演者との交流は主催者がその場を作ってくれるといいのでは…？	
会場について ・マイクを入れていただいておりますが、聴きにくいときがあり残念（特にお話（最初の挨拶）のとき）。こちらが悪いのですが、補聴器つけます。 ・少し照明がくらかったかなと思いました。・音が聞きにくい。	
ダンスや踊り演奏について… ・FDFは皆様の頑張りが勇氣となりました。リズムによくのって楽しそうで、とてもよかったです。もっと発表の場があるといいですね。 ・楽只保育所の園児さんのダンスもかわいくて表情も明るく心癒されました。ありがとうございました。 ・児童館の児童もとても良かったです。子どもはいいですね。 ・子どもたちのクイズが子どもらしくてかわいかったです。ありがとうございました。 ・色々な楽器が聴きたいです。・しの笛と和太鼓がとてもよかった。・楽しくさせていただきました。 ・初めて参加させて頂きました。今後も出席させて頂きたいと思いました。 ・フルートとギターを聞きにきました。とても良かったです。時間の都合で観覧できず残念でした。 ・初めての発表会出場させて頂きました（FDF）。楽しんでいい経験ができました。ありがとうございました。 ・炎が最高でしたが♡ ユーフォの美しさがきわだっていて良かったです♡ ・音楽集団がじろう、とてもよかったです。いやされました。 ・FDF元気いっぱい楽しそうなダンス最高でした。 ・楽しい時をありがとう。しの笛と和太鼓とても良かった。 ・最後の太鼓の連だん素晴らしかった。どこで練習できるのか？気になりました。 ・皆様とても笑顔で、楽しく演技発表させていただきました（フラ）。 ・皆様の笑顔を見せていただきありがとうございました。 ・観て下さる方々が、きちんと前向いて観て下さり、とても嬉しく楽しく踊れました。感謝！ ・楽しく演奏させていただきました。交流はできませんでした。 ・同様のものがもっと広がると良いなと思いました。 ・参加させてもらった子どもたちは、緊張しつつも楽しめていてよかった。	
その他… ・健康でありつづけるようになんげりたいと思います。・（聴ける）機会がなかった。 ・出演しただけで（聴ける）機会がなかった。・もう少しお客様が多いとよかった。	
■今後おこなってほしいイベントや活動 ・FDFや保育所の出演、来年もお願いします。 ・前はカラオケの教室がありました。それに参加させて頂いておりましたが、無くなったので又取り組んで頂きたいと思います。 ・無理かもしれませんが、コラボとかがあればいいのではないかと思います。 ・地元の吹奏楽の演奏 ・ダンス ・発表 ・手芸品やおかしの発表会をしてほしいです。 ・敬老だけでなく、ふれあいなどの集いあればお誘いください。 ・若い世代向けの交流イベント ・音楽鑑賞や人形劇など	

【事業名】①-2 地域交流「いきいき楽ちゃんフェスティバル」(市民活動支援・活性化事業)

事業の概要

- 1 開催日時： 2025 年 8 月 9 日 (土) 17 時～21 時
- 2 開催場所： 北いきいき市民活動センター 楽只保育所園庭
- 3 参加人数： 700 名 (8 団体)
- 4 協力団体等： 実行委員会 (楽只社会福祉協議会・児童館・保育所・FUNAGORA)
- 5 予算： 500,000 円 / 決算： 496,753 円

1 事業内容

- ・ステージ発表 (和太鼓・こどもたちのダンス・バンド演奏等の発表) と参加者も含めた盆踊りダンスフェスティバル。 ・遊びコーナー等の実施。
・子ども神輿を地元青年の協力をえて実施。
- 評価委員会から指摘された事項があれば。
・「より多様な団体との連携」をめざし、協賛団体を増やす声かけなど出向いた活動続ける。

2 準備段階での工夫

- ボランティアや他団体に協力いただいたこと
・地元みこし会青年による「神輿担ぎ体験」の実施
- 他センターにはない独自の広報
・学生スタッフが FM ラジオミックスに生出演して PR。

3 事業実施による効果・達成度

(1) 当初の事業効果、目標等

- ・参加者の動線を考慮し、発表ステージを園庭北側に配置した。
- ・事前に「盆踊り」の練習時間を取り、子どもたちにも関心を持ってもらうことができた。・出店が増えたため、電源の確保が必要。
- ・インドネシアの影絵 (「ワヤン」) も新鮮で異文化に触れる機会として好評だった。

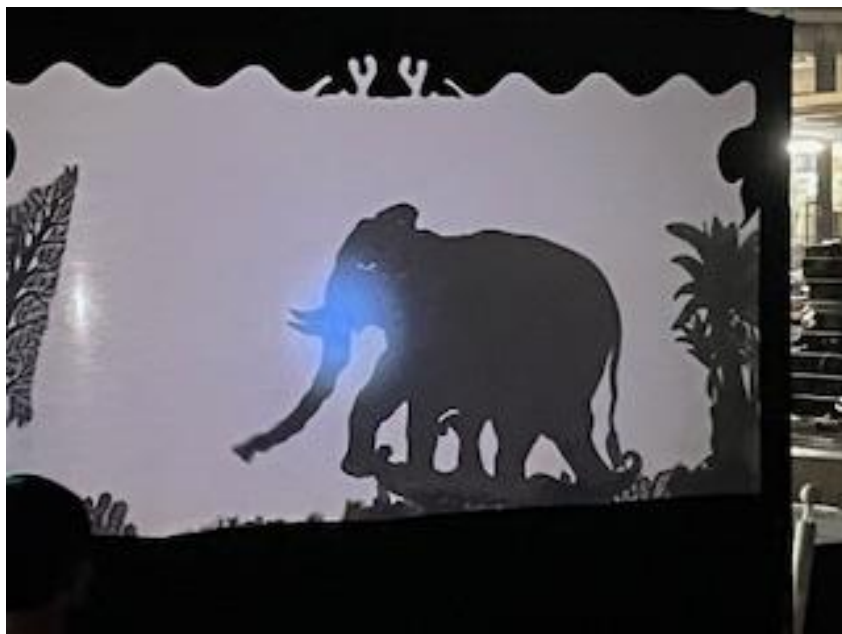
(2) 事業実施による目標の達成度

- (1) の達成度について自己分析し、記載してください。
・昨年に比べ高齢者・外国人の参加が増え、多くの世代の交流の様子が見られた。
- ・実行委員会による運営により、スムーズに準備・設営・進行を行うことができた。
- ・盆踊り保存会にも、新しい若い世代の参加を得ることができ、踊りを盛り上げていただいた。・いきセンのフェスティバルとして、新しい出演団体にも参加していただくことができた。・地元の青年による子ども神輿は、子どもたちの関心も高くおおいに盛り上がった。・地域の中学生高校生のボランティアが活躍できた。

4 今後の抱負

- 事業実施後に、実施結果について振り返ったことなどを記載してください。
・参加者の拡大・江州音頭の普及・イベントコーナーの充実に向けて、新年度早い時期から実行委員会を開催して、よりよいフェスティバルを作り上げたいと考えている。

事業風景の写真



影絵
インドネシア「ワヤン」



江州音頭
参加者全員で総踊り

夏祭アンケート集計 ※ 出演31（児童館9／保育所4）／出店8／参加者27／総数66								
アンケート項目	よかった◎		ふつう○		もう少し△		無回答	
①夏まつりに参加して（出演・出店含む）。	62	94%	4	6%				
②夏まつりを楽しめたか。	51	77%	15	23%				
③他の出演者やお客様との交流ができたか。	25	38%	29	44%	12	18%		
④また次の機会に参加したいと思ったか。	59	89%	6	9%				1（2%）
■その他、お気づきの点やご意見など								
・ ご感想								
・ 楽しかったです ・ 今年もありがとうございました。自家製感のあるこのお祭りが大好きです。								
・ 初めての参加でしたが元気をもらいました。地域の広がり、まとまり、積極性が感じられた。これから続けていってほしい。								
・ こどもを楽しませることを重視されていて、とても活気のあるまつりです。								
・ たのしかったです。子どもたちもたのしそう良かったです。 ・ 暑い中準備大変と思いますがご苦労様でした。								
・ 来場者数の多さに驚きました！ こどもも大人も楽しんでいる様子をみながらの出店はとても楽しかったです。								
・ オープン時より、多くの人が来場され、始終盛り上がっていたと思います。								
・ 若い人たちのがんばりが素敵でした。助かりました。 ・ 楽しませていただきましたありがとうございました。								
・ すごく盛大なおまつりでおどろきました。参加されている方たちは、とても楽しんでおられた様子でした。								
・ 大人とこどもの夏まつり楽しかったです。だけど両親の参加少なかったです。 ・ Ce est bien ・ good								
・ ダンスやステージ、盆踊り（プログラム）について…								
・ 盆踊りの櫓がほしい。 ステージが元気いっぱい良かったです。 盆踊りが楽しかった。								
・ ステージ演出も常に盛り上げてくださり、会場全体の雰囲気がとても良かったです。								
・ 楽しそうにきて下さる方の顔が近くでみられて良かったです。もう少し時間があっても良かったです。								
・ お客様との距離が近く、たくさんの手拍子、笑顔にふれることができました！								
・ ししまい、たいこに喜んで下さる姿にこちらも元気いただきました。ありがとうございました。								
・ ありがとうございました。見ていただいた方たちも暖かくて楽しかったです。								
・ 影絵が楽しかった。またみんなで踊りたいです。 ・ 盆踊りもたくさんの方が踊ってくれてもり上がっていた。								
・ 本格的なバンドや歌は素晴らしい、聴衆の方々も楽しく踊っておられたのが印象的でした。								
・ 保育所のステージの時間、もう少し早いとうれしいです。（17:30頃）								
・ ステージの影絵は、初めて見ましたが、とてもすてきでした。こどもたちもよく見ていて、楽しんでいたのよかったです。								
・ ステージとても盛り上がっていて、みんな楽しそうでした。								
・ 会場について…								
・ 座る席が欲しい ・ 去年までとレイアウトがかわって新鮮みがあった。								
・ キッチンカーなどは各自で電源を用意してもらえないのでしょうか。								
・ 事前の打ち合わせや出店内容についての相談などをする機会がなかったので、ポスターを作る前に何コーナーをするか伝えられると、もっとよいと思いました。								
・ 園庭の草引き								
・ 出店内容について…								
・ かき氷の重複がありました。事前にかぶりがないように伝えていたのですが、ウチ（竹村）の他に2店舗さんありまして、ロスが出てしまいましたので、来年はその点の品目を気をつけてくださると助かります！！								
・ ビールがうれしかったです。やみきゅうポテトとかおつまみもっとほしいです。ビアガーデンばくて楽しかったです。								
・ ゲームはいまいちでした。								
・ 出店ブースも増え、皆さん楽しんでいたのがよかったです。 ・ 去年より出店の数も多くすごくにぎやかに見えてよかった。								
・ テント一張りに二つの団体が入って出店していたが場所が狭く身動きがとれなかったのもう少し広いスペースが欲しかった。								
・ 園庭にラムネのびん、フィルムがたくさん落ちていたので、ラムネの販売は次年度は考えていただけたら嬉しいです。								
・ 出店数が多くてお客様が分散していた。								
・ その他								
・ プログラムに「募集」を書いてもらったのが嬉しい。								
・ 腰を痛めて歩き回れないので私の都合です（盆踊りに参加しなかったのは）。								
・ 今後おこなってほしいイベントや活動								
・ 隣の船岡山の活用。 ・ 出来るだけ多く開いてほしい。 ・ かみずもうをつくっているんなひととしようぶしたい。								
・ 屋外映画の上映があるとたのしそうだなと思いました。								
・ ゲームをふやしてほしいです。 ・ 琉球まつり太鼓また来てほしい。								
・ 新たに影絵を楽しませてもらいました。参加者からの希望があれば、取り入れてもいいと思います。								
・ の当て、射的コーナー（遊べるコーナー）を無料か100円でできるようにしてほしい。もしくは「1回無料」など。								

【事業名】①-3 福祉体験交流「パラスポーツのつどい」（市民活動支援・活性化事業）

事業の概要

- 1 開催日時： 2026 年 3 月 21 日（土）13 時～16 時
- 2 開催場所： 北いきいき市民活動センター 多目的ホール
- 3 参加人数： 90 名（3 団体）
- 4 協力団体等： 実行委員会（ライトハウス・アイアイ教室・FDF・放デイさんりん舎
佛教大学車いすバスケットボール部）
- 5 予算： 300,000 円 / 決算：298,518 円

1 事業内容

○ 佛教大学サークルの協力サポートにより、車いすバスケットについての体験をとおし
て障がいの有無にかかわらず楽しめるスポーツについて理解を深める機会とする。

- ・車いすバスケットの実演。（大学車いすバスケットチームの紹介と模範演技）
- ・車いすバスケットの体験。（車いすの体験・おにごっこからミニゲームの実施まで）

○ 評価委員会から指摘された事項があれば、その改善点を記載してください。

- ・地元、佛教大学との連携を深める。

2 準備段階での工夫

○ ボランティアや他団体に協力いただいたこと

- ・佛教大学車いすバスケットボールとの事前打ち合わせ。（学生支援課も協力いただき、
大学一体となった協力をいただいた。）

○ 他センターにはない独自の広報の工夫などがあれば記載してください。

- ・佛教大学車いすバスケットボールの活動が、「24 時間テレビ」でも評価された。
- ・ラジオミックスでも取り上げていただき、広報することができた。
- ・児童館・放デイ・地域・一般・他の地域から、多数・多様な参加者が見られた。

3 事業実施による効果・達成度

（1）当初の事業効果、目標等

- ・北いきいき市民活動センター利用団体を中心に障がい者スポーツ活動の発表と
交流の場を設け、実行委員会によって市民活動の活性化を促す。

（実行委員会） 京都ライトハウス アイアイ教室 FDF ダンスチーム

放課後等デイサービスさんりん舎 佛教大学等

（2）事業実施による目標の達成度

- ・昨年以上に参加者も増えて、共にスポーツを楽しむことができた。

4 今後の抱負

- ・障がいのある参加者については、事前に確認し支援者がつけるように配慮する。
- ・硬いボールや柔らかいボールなど、参加者によってボールの使い分けも必要。

事業風景の写真



パラスポーツのつどい「車いすバスケットボール」

アンケート 集計 (パラスポーツ 3/21 集計 3/27 回答数22)

アンケート項目	よかった ◎		ふつう ○		もう少し △	
①車いすバスケットに参加していかがでしたか。	19	86%	3	14%	0	0%
②車いす体験やゲーム試合を楽しめたか。	20	91%	2	9%	0	0%
③他の参加者との交流ができましたか。	13	59%	7	32%	2	9%
④また次の機会に来たいと思いましたか。	21	95%	1	5%	0	0%

イベント参加へのご感想

- ・車いすやパラスポーツの体験は授業で座学として学ぶことはあっても実際に行くことはあまりないと聞いています。地域の子どもたちにとって実際に車いすバスケットをすることは大変貴重なものになったと思います。(佛大スタッフ)
- ・たくさんの方に参加いただき本当に嬉しく思います。(佛大スタッフ)
- ・この活動を通して車いすバスケットを知ってもらえたらいいなと思いました。(佛大スタッフ)
- ・佛大の戦力として2回目なのですが、1回目と同様、むしろ1回目以上に今日は盛り上がり、とても楽しく過ごさせていただきました。お忙しい中ですが、今回のイベントに携わっていただいた皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。(佛大スタッフ)
- ・なんかボールをいれるところ(ゴール)に13回シュートできた。
- ・楽しかったここのが。 ・リレーが楽しかった。 ・またやりたいです。
- ・やってなかったときはできるかしんばいだったけど、やってみたら楽しかったです。
- ・子どもたちも楽しそうにできて、とてもいい時間でした。
- ・障がいのない子やある子どもが楽しく交流してるのがすごく良いと思った。
- ・たのしかった。 いっぱいたのしかった。 車イス動かすのが楽しかった。
- ・くるまいすバスケットができてたのしかったです。 まえきたときよりもボールをうまくなげれてうれしかったです。 おにいさんがやさしくおしえてくれてうれしかった。
- ・ぼーるをたくさんなげられてたのしかった。 くるまいすではんたいのほうだけまわすのをがんばりました。 またいきたいです。

もう少し思うところ、お気づきの点やご意見…

- ・低学年から幅広く参加した中で低学年の子からしたら、ボールが固く、怪我のリスクが高いと思った。 実際顔にボールが当たり、鼻血を出した子もいたので、低学年専用のボール、高学年専用のボールで分けるなど工夫が必要だと思った。

今後行ってほしいイベントについて…

- ・引き続き本イベントの継続をよろしくお願いいたします。
- ・佛教大学に車いすバスケットの体験をしに来てもらう。 子どもだけでなく親も参加し、よりパラスポーツ(車いすバスケット)を広げたい。
- ・来年度も第三回として、パラスポーツのつどいを開催してほしいと思います。 開催されると佛大に伝えていただけると、今回と同様に佛大車いすバスケット部として参加したいと思います。
- ・来年も車いすバスケットでお願いいたします。
- ・お祭り(あそべる) ・かわりおに(3) ・車いすバスケット

【事業名】②-1「船岡山西通りまちづくりワークショップ」（市民活動支援・活性化事業）

事業の概要

- 1 開催日時： 2025 年 11 月 16・30 日 12 月 13・27 日 1 月 15 日（土）17 時～21 時
- 2 開催場所： 楽只児童館・船岡山西通り 等
- 3 参加人数： 延べ 100 名（4 団体）
- 4 協力団体等： 実行委員会（交通対策協議会・児童館・保育所・親の会）
- 5 予算： 185,000 円 / 決算：181,400 円

1 事業内容

- ・子ども、高齢者、障がいのある方の船岡山西通りにおける安全確保と環境改善。
 - ・地域住民や利用者への危機意識や問題提起の推進。
 - ・HAPS や MONAKA などの関連施設との協働。
 - ・船岡山に関わる関連施設や北土木事務所をはじめとする関係機関の協力を得ながら、船岡山西通りで実践。
 - ・事業の継続として「美しい・気持ち良い」一斉清掃などを実施し、ストリートとしての機能やデザインを明確にする。
- 評価委員会から指摘された事項があれば、その改善点を記載してください。
 - ・地元「学区社協だより」で取り上げていただき、認知度を高める。

2 準備段階での工夫

- ボランティアや他団体に協力いただいたこと
 - ・社協（交対協）、児童館、保育所、親の会・府立盲学校やライトハウも一体となり実行委員会を形成し、「安心安全なまちづくり」ワークショップを実施。

3 事業実施による効果・達成度

（1）当初の事業効果、目標等

- ・ふなおかやまパークアップ事業を展開する多くの団体とのつながりを深めることができた。・社協による街灯設置をはじめ、地元地域団体に関心を持っていただくことができた。・児童館や保育所の子どもたちや保護者の思いや意見を尊重した取組を進めることができた。・北警察署の交通安全指導員も応援にきていただき、安全についての意識が高まった。

（2）事業実施による目標の達成度

- 交通安全に関わる内容でなく、紫野小学校においてもこどもたちの公園利用が可能となり（これまでは遊んではいけない区域だった）船岡山公園全般について「より良くしていこう」という関心が高まっている。

4 今後の抱負

- ・ふなおかやまパークアップ事業を展開する多くの団体とのつながり、船岡山に関わる多くの人との交流を進めていく。

事業風景の写真

船岡山西通り 保育所の入り口

駐車車両と乗用車の離合。



北警察署と安全指導員さんの協力による

「安全な横断歩道のわたり方教室」



【事業名】②-2 紙屋川探検（市民活動支援・活性化事業）

事業の概要

- 1 開催日時： 2025 年 10 月 10・18 日 11 月 8 日 1 月 17 日（土）
10 時～12 時
- 2 開催場所： 紙屋川河川敷・楽只児童館・HAPS スタジオ等
- 3 参加人数： 延べ 250 名（4 団体）
- 4 協力団体等： 実行委員会（楽只児童館・HAPS・アーティスト等）
- 5 予算： 190,000 円 / 決算：189,614 円

1 事業内容

- ・元 HAPS スタジオのアーティストと開キ町住民などによる「紙漉きプロジェクト」を立上げ、文化的側面からの発信を通し「開キ町問題」への社会的関心を高める取組の支援しながら「紙屋川安心・安全のまちづくり」構想を明らかにする。さらに、トロロアオイの栽培と紙すき・和紙作りの活動を通して「紙漉き文化」を次世代につなぐとともに、「多文化共生のまちづくり」の展望を明らかにし、多文化共生のネットワーク化を目指し、地域住民による主体的・継続的な取組を支援する。

（紙屋川砂防ダム探検）

- ・トロロアオイの栽培 ・和紙作り（紙すき）
- ・藍染めや拓本作りの体験の実施・美濃市の老人団体や保育所との交流。
- ・河川敷での写生会の実施 ・「楽ちゃんフェスティバル」への出品
- 評価委員会から指摘された事項があれば、その改善点を記載してください。
 - ・市民も紙屋川についての関心も高く、歴史や文化・環境についても取組をひろめていく。

2 準備段階での工夫

- ボランティアや他団体に協力いただいたこと
 - ・「紙屋川問題を考える会」との交流
 - ・保護者や大学職員などの関心も高まっている。

3 事業実施による効果・達成度

（1）当初の事業効果、目標等

- ・紙屋川の流域や周りの自然・人々の暮らしに関心を持っていただく大人や子どもが増えてきている。・探検遊びや水遊びだけでなく、栽培活動や写生会の計画など、多彩な活動に進化している。・栽培の水やりなど、開キ町住民の協力も得られるようになった。・こどもたちの作品や「紙屋川だより」をイキセンギャラリーに掲示し、センター利用者にも関心を持っていただくことができた。

（2）事業実施による目標の達成度

- ・単なる「探検遊び」ではなく、こどもたちの作品や「紙屋川だより」をイキセンギャラリーに掲示し、センター利用者にも関心を持っていただくことができた。

4 今後の抱負

- 今後、「ふなおか一带」に関わる取り組みと関連させて事業を展開していきたい。

事業風景の写真

紙屋川探検ワークショップ



トロロアオイの紙すき



紙屋川河川敷での写生会



【事業名】②-4

事業の概要

- 1 開催日時： 2025 年 7 月 5・12・19・26 日 8 月 2・9 日
9 月 20 日 12 月 6・13 日 2 月 7 日（土） 18 時～21 時
- 2 開催場所： 北いきいき市民活動センター 会議室 楽只保育所園庭等
- 3 参加人数： 延べ 100 名（3 団体）
- 4 協力団体等： 実行委員会形式（保存会・社会福祉協議会・楽只児童館）等
- 5 予算： 450,000 円 / 決算：449,940 円

1 事業内容

- ・江州音頭 踊りの講習会（保育所・児童館・イキセン）

音楽バンドとの合同練習会

- ・ 「いきいき楽ちゃんフェスティバル」で披露 8 月
- ・ 「市民活動祭」で披露 9 月
- ・ 音頭とりや太鼓方の募集と育成 10 月～
- ・ 反省会 来年度へ向けて 2 月

2 準備段階での工夫

- ボランティアや他団体に協力いただいたこと
 - ・ 地元の音楽バンドサークルからの申し出があり、江州音頭の生バンド演奏が実現した。その後、このサークルもセンター利用団体となった。
- 他センターにはない独自の広報の工夫
 - ・ イキセンを利用する音楽バンドとの共演を行うことができた。
 - ・ バンドとの共演のため、音頭の「楽譜づくり」にとりくんだ。
 - ・ みこし会の青年も、熱心に参加していただいた。

3 事業実施による効果・達成度

（1）当初の事業効果、目標等

- 保存会はかつて千本地域にあった「音頭取り育成ネットワーク」の再構築として 2003 年より地元・佛教大学教育学部生・楽只小学校教職員によって組織化され今まで 20 年以上活動している。音頭取り集団の育成と千本における踊り文化の継承に取り組む保存会の支援を行う。

（2）事業実施による目標の達成度

- ・イキセンを利用する音楽バンドとの共演を行うことができた。

4 今後の抱負

- 事業実施後に、実施結果について振り返ったことなどを記載してください。
中学生高校生のバンド演奏にも「江州音頭」を取り上げていただき、伝統文化をひろめていきたい。

事業風景の写真



○音楽バンドによる
演奏

○江州音頭を
楽譜に起こしたもの

ハヤシ Am G Am G Am

ソ リャー ヨオイ ト ヨイヤ マツ カ ドッ コイ サー ノ セー あ あ

一の節 Am G Am

あ あ さー て はー この ば の み な さー ん へ

二の節 G Am Am G Am G

ちよーいと コ レ でー ま し たー わ た く ウ シ イ は

本祭文 Am G Am Am G Am G Am G Am G

こ れ だ け た こ オ でー あり まー す けー れ ー ー どー ー ー ー

【事業名】②-5 ラクシノクラシ・マンガプロジェクト「京都本」(市民活動支援・活性化事業)

事業の概要

- 1 開催日時： 2025 年 12 月 17 日 2026 年 1 月 14 日 2 月 12 日 (木) 18 時～21 時
- 2 開催場所： 北いきいき市民活動センター 会議室 ・ ふれあい共生館 会議室
- 3 参加人数： 延べ 150 名
- 4 協力団体等： 実行委員会 「千本の赤」マンガプロジェクト
- 5 予算： 450,000 円 / 決算：445,500 円

1 事業内容

- 事業の内容を具体的に記載してください。

(NPO くらしネット 21 の独自事業への支援)

冊子「ラクシノクラシ」を、現代を生きる人々の様々な人権問題と多文化共生の観点から教育資料・教材として活用し、大学を中心とする教育機関等との教育ネットワークを再構築した教育のまちづくりを支援する。

- 評価委員会から指摘された事項があれば、その改善点を記載してください。

「センターの事業としての範疇を超えた活動とならないように」(評価委員会)という指摘を踏まえて、来年度以降は提案業務の計画からは外し、地域の歴史・文化的背景を生かし発展させる事業としてマンガプロジェクトを進めていきたい。

2 準備段階での工夫

- ボランティアや他団体に協力いただいたこと

楽只小学校教員 OB

ツラッティ教育の会

- 他センターにはない独自の広報の工夫などがあれば記載してください。

冊子「ラクシノクラシ」については多くの関係者からの関心も高く、「学校での教材としていかしたい」という要望が多い。

3 事業実施による効果・達成度

(1) 当初の事業効果、目標等

- マンガ化制作作業にあたっては、共生館 HAPS アーティスト・元製作者らの協力をいただき、多文化共生の視点から人権の将来展望を提言する内容を検討してきた。

(2) 事業実施による目標の達成度

- 「イキセン」としては、編集にかかわる資料収集・情報提供、取材協力、製本作業等について支援をしてきた。

4 今後の抱負

- 地域の歴史と伝統を、絵本のマンガ化制作を通して人づくり・まちづくり・多文化共生の観点から「ふれあい共生館」の各施設の協働を目指したい。

しかし、指定管理審査による「団体独自の活動とセンターの事業との棲み分けを明確にし、より広く北区全体を視野に入れた施設運営」を工夫するという指摘を踏まえて、次年度からは提案業務から外すこととなった。

事業風景の写真



マンガ千本の赤の制作
に関するアピール



北野天満宮での講演会・
フィールドワークへの
参加による情報交換

【事業名】③-1 子どもの教育支援ボランティア養成（市民活動支援・活性化事業）

事業の概要

- 1 開催日時： 2025 年 8 月 14・21 日（木）13 時～17 時
2026 年 1 月 6・7 日 10 時～12 時 …他
- 2 開催場所： いきいき市民活動センター 会議室 ・ 児童館
- 3 参加人数： 児童・学生・スタッフ 計 70 名
- 4 協力団体等： 佛教大学教育学部後藤・堀家ゼミ ツラッティ教育の会
- 5 予算： 101,680 円 / 決算：101,004 円

1 事業内容

- 佛教大学教育学部後藤・堀家ゼミの協力により
 - ・ 児童生徒の理解の基本や障がいのある子どもへの理解
 - ・ 子どもの学習習慣や基本的な生活習慣の大切さについて
 - ・ 集団活動や仲間づくりの基本について
 - ・ 近隣小学校での授業参観と指導案の作成などの体験
 - ・ 子どもたちと書き初めや昔の遊び大会など、一緒に楽しむ
 - ・ 園庭を使つての小中学生とのバスケットボール交流 など

2 準備段階での工夫

- ボランティアや他団体に協力いただいたこと
 - ・ ツラッティ教育の会（教員 OB）によるアドバイス

3 事業実施による効果・達成度

（1）当初の事業効果，目標等

- - ・ 支援の必要な子どもへの理解と支援のあり方について理解を深める。
 - ・ 大学生の将来展望に向け、教育と福祉のボランティアの重要性への理解を深める。
 - ・ 地域活動や市民活動のボランティアとしての実践力を身につける。

（2）事業実施による目標の達成度

- - ・ ツラッティ教育の会メンバーによる講義等も実施し、子どもの居場所づくりにつながる情報を共有することができた。
 - ・ 近隣の大学生を積極的に受け入れ、ボランティアとしての自発的な活動を支援することができた。

4 今後の抱負

- 事業実施後に、実施結果について振り返ったことなどを記載してください。
学校に行きにくい子ども・親の都合で十分に食事の取れない子どもにとって、学生ボランティアの必要性が高まっている。食事提供や学習支援のみならず、子どもたちにとって多様な支援を考えていきたい。

事業風景の写真



「よくわかる」学習の
ポイント

「子どもたちは、どん
なことで困っている
のかな?」



書初め大会

「大きな紙に
大きな筆で
元気いっぱい
書きました。」

【事業名】③-2「わんぱくキッズプログラムボランティア指導員養成」(タグラグビー)
(市民活動支援・活性化事業)

事業の概要

- 1 開催日時： 2025 年 6 月 8 日 9 月 7 日 1 月 25 日 2 月 13 日
(日) 10 時～12 時
- 2 開催場所： 楽只保育所園庭
- 3 参加人数： 各回 30 名 (団体)
- 4 協力団体等： 実行委員会 (楽只児童館・保育所・体育振興会)
- 5 予算： 475,000 円 / 決算：460,314 円

1 事業内容

- ・京都市の北部におけるラグビーフットボール普及の拠点となる、またクラブチームの立ち上げを視野に入れた取組をめざし、障がいのある・なしに関係なく、自然に触れたり、自由に走り回ったりする機会を大幅に奪われた子ども達の感性・体力・コミュニケーション能力を回復させるべく取組を児童館、保育所、大学と連携して進めることを支援する。
- ・運動・球技を通したタグラグビークラブの設立のための体験会を支援し、加えて「親の会」設立を支援する。将来、発展的に地域子ども会化や居場所づくりに取り組む。

「体験会の内容」

- ・ラグビーボールに触れ、パスやタグ取りの楽しさを体験する。
- ・簡単なゲームをする。

(当日のタイムスケジュール)

8:30 スタッフ集合 10:00 開会 準備運動 体験活動 12:00 閉会 後片付

2 準備段階での工夫

- ボランティアや他団体に協力いただいたこと
- ・京都府タグラグビー協会の支援により、指導者を派遣していただいた。

3 事業実施による効果・達成度

(1) 当初の事業効果、目標等

- 地元でラグビーを経験したことのある保護者が多く、うまく子どもたちのサポートをしていただいている。

(2) 事業実施による目標の達成度

- タグラグビーについての関心が高まっている。指導者養成と合わせて、広い地域からの参加を呼びかける。

4 今後の抱負

- 保育所園児から小学生まで、多くの子どもたちが参加している。協会の支援の下、指導ボランティア養成を進めるとともに、地域子ども会化や居場所づくりに取り組んでいきたい。

事業風景の写真

タグラグビー体験会の様子



楽只保育所 園庭



京都朝鮮第二初級学校
グラウンド



北いきセン
多目的ホール

【事業名】③-3「高齢者見守り・声かけ活動ボランティアリーダー養成」

(楽ちゃんキッズデリ) (市民活動支援・活性化事業)

事業の概要

- 1 開催日時： 2025 年 11 月 29 日 12 月 20 日 1 月 24 日（土）9：30～11：30
- 2 開催場所： 楽只学区を 3 ブロックに分けて
- 3 参加人数： 60 名（5 団体）
- 4 協力団体等： 実行委員会（社会福祉協議会・民生児童委員・老人福祉委員・自主防災会・共生館各団体）
- 5 予算： 120,000 円 / 決算：118,107 円

1 事業内容

- ・地域活動や市民活動の担い手の育成として、地域の独居高齢者を対象に年 3 回の配食サービスを行う。
- ・事前に案内状を作成・配布する中で、見守り活動と声かけ活動を行う社会福祉協議会・民生児童委員・老人福祉委員・自主防災会・共生館各団体・学生・スタッフの活動を支援する。
- ・配食の案内チラシの配布（75 歳以上の独居高齢者）対象者全員
- ・当日 申込者の数と住所の確認
お弁当と手拭き・お茶の準備
グループに分かれて配食
児童館に戻って、配食の振り返りを行う。

2 準備段階での工夫

- ボランティアや他団体に協力いただいたこと
- ・以前は家庭科室で調理していたが、今は地元のお弁当屋さんの協力を得ている。
- ・ふれあい共生館に関わる団体（HAPS・FUNAGORA）

3 事業実施による効果・達成度

（1）当初の事業効果、目標等

- ・世代間交流をしながら、企画・運営を支援し、若い世代に継承・発展を促し、自立・自走組織としての継続を目指す。地域の実態に目を向け、顔の見える関係性の構築・災害時の支援体制など地域に働きかける人材育成に取り組みながら、地域福祉を多世代で支援していく。

（2）事業実施による目標の達成度

- 「子どもたちの声掛けが温かい」と、高齢者には毎回たいへん好評である。

4 今後の抱負

- 元々は楽只小学校の人権教育からスタートした活動。今後も、地域と子どもたちをつなぐ活動として、いろいろな団体を巻き込んで継続していきたい。

事業風景の写真

子どもたちによる 配食サービス



「お弁当をどうぞ」

「お変わりありませんか」

【事業名】③-4 地域福祉ボランティア養成（市民活動支援・活性化事業）

事業の概要

- 1 開催日時： 2025 年 10 月 18 日 11 月 15 日 1 月 17 日 3 月 28 日
(土) 13 時～16 時
- 2 開催場所： 北いきいき市民活動センター 会議室 等
- 3 参加人数： 10～15 名
- 4 協力団体等： 実行委員会（居宅介護支援事業所まのあ・ライトハウス）
- 5 予算： 128,320 円 / 決算：124,378 円

1 事業内容

- ・「準備会」の開催に向けての実行委員会への支援。
「そらいろのたね」委員会を立ち上げる。
日程調整・内容について・広報の仕方・当日の運営や進行について 等
地域で必要としている障がい者支援について(研修会)
- ・「プレ事業」（制作活動）の実施
紙工作などの制作活動をとおして、障がい者の居場所づくりを進めると共に、
支援ボランティアの育成をめざす。

2 準備段階での工夫

- ボランティアや他団体に協力いただいたこと
ライトハウス・FDF ダンスチーム・放課後等デイサービス
- 他センターにはない独自の広報の工夫などがあれば記載してください。
令和7年度については、独自の広報はできていない（口コミによる）。

3 事業実施による効果・達成度

(1) 当初の事業効果、目標等

- ・福祉ボランティアや介助ボランティアの養成講座として人材開発・人材確保の支援を進め、福祉のまちづくりと福祉の仕事をマッチングさせ、自立的な活動の推進と自走化に向けて進んできている。

(2) 事業実施による目標の達成度

- 「プレ事業」（制作活動）の段階ではあるが、確実に準備を進めている。

4 今後の抱負

- 事業実施後に、実施結果について振り返ったことなどを記載してください。
2026年度からの本格的な実施に向けて、ボランティア養成もあわせて、スタッフの得意とする芸術分野での制作活動を具体的に進めていく。

事業風景の写真

「そらいろのたね」仮面・張り子で動物を作ろう ワークショップ



【事業名】③-5 地域の歴史・文化活動ボランティア養成（市民活動支援・活性化事業）

事業の概要

- 1 開催日時： 2025 年 7 月 12 日（土）8 月 23 日（土）14 時～16 時
- 2 開催場所： 北いきいき市民活動センター 会議室 共生館和室 等
- 3 参加人数： 30 名
- 4 協力団体等： 老人福祉委員 学生ボランティア 等
- 5 予算： 450,000 円 / 決算：449,383 円

1 事業内容

- 高津本屏風の研究を柱に、資料収集・分析を協働する人材確保を支援する。
 - ・地域の寺院の成立からの移り変わりについて調査研究を行う。
 - ・地域のお年寄りから、地域の歴史・文化風俗についての聞き取りを行い、アーカイブ化をめざす。

2 準備段階での工夫

- ボランティアや他団体に協力いただいたこと
 - ・老人福祉委員からの声掛け
 - ・学生ボランティアのよるお年寄りの送迎のお手伝い 等

3 事業実施による効果・達成度

（1）当初の事業効果、目標等

- 「ふれあい共生館」内のツラッティ千本と連携し、歴史的資料、記録保存を活かし、現代を生きる人々の様々な人権問題、地域の歴史・伝統・文化を研究、分析・検証・蓄積することによって、それらを生かした歴史・伝統のまちづくりを推進し、歴史・文化に関わろうとするボランティア養成を支援する。

（2）事業実施による目標の達成度

- ・地域のお年寄りが一堂に会し、子どもの頃の思い出や家族のことなどいろいろお話ししていただき、貴重な資料として記録することができた。
- ・「舟木本」（国宝第2号）に関わる資料を入手することができ、比較研究することができた。

4 今後の抱負

- 事業実施後に、実施結果について振り返ったことなどを記載してください。

今年は1626年の後水尾天皇の「寛永行幸」から400年にあたり、京都においては何かと関心も高まっている。しかしながら、評価委員会の「特定の分野に偏らないように」という指摘を踏まえて、次年度からは提案業務から外すこととなった。

事業風景の写真



お年寄りの会

「ふれあい共生館」に集ま
っていただき、昔の地図や
スライドを見ながら地域の
歴史をふりかえり、楽しい
ひと時となりました。



紹介パンフレット

洛中洛外図屏風高津本
について解説したパンフレッ
トを作成。

3. 利用料金の収入実績及び管理運営に係る経費の収支決算

1 利用料金の収入実績

令和7年度実績：4,235,880 円（前年度比 100.8） 4,201,519

〔内訳 会議室等：4,033,000 円
付属設備： 202,880 円 ※自主事業分を除く
スモールオフィス：0 円〕

2 管理運営に係る経費の収支決算

別紙収支決算書のとおり

4. 施設の利用者満足度の把握

自転車置き場 1 利用者満足度の把握状況

(1) 全センター共通窓口サービス調査

【実施時期】 令和7年11月実施

【調査項目】 窓口サービス

(2) センター独自アンケート

事業実施時にアンケートを実施

2 利用者満足度把握の結果

(1) 全センター共通窓口サービス

満足	ふつう	不満	無回答
53.7%	44.4%	1.7%	0.2%

(2) センター独自アンケート

○結果の概要（概ね満足）

3 意見等への主な対応状況

○ 利用者からの意見で対応したものを記載してください。

「各部屋への案内が分かりにくい」 → 館内の案内表示を増やした。

「自転車置き場にバイクが止めてある」 → バイク置場の案内。

5. 指定管理者による管理運営業務の自己評価

- 取り組んだ事業等の総括を記載してください。

提案業務に関わる各実行委員会の話し合いも順調に運び、自走化が進んでいる。

- 今後、解決すべき課題等があれば記載してください。

予約システムが新しくなったため、予約済を入力するのに時間がかかる。

左京東部いきセンの閉鎖に伴い、多目的ホールの利用が増えている。

- 次年度に向けた対応について記載してください。

指定管理審査・評価委員会による「団体独自の活動とセンターの事業との棲み分けを明確にし、より広く北区全体を視野に入れた施設運営」を工夫する。

6. その他施設の管理運営に関する重要又は異例な事項

○ 施設の管理運営（事業の実施を含む）に当たって、何か重要又は異例な事項があれば記載してください。

例）重大な事故やコンプライアンス違反等 特になし

例）年間事業計画にある事業の中で、実施できなかった事業 なし（すべて実施）

【締め切り】

5月22日（金）までに地域自治推進室へデータ1部＋紙18部提出

※ 収支決算書は、5月15日（金）までに提出してください。